

# 飛驒の城めぐりMAP

## 飛驒の戦国時代

戦国時代、飛驒国（現在の岐阜県飛驒地域）は、飛驒国司で北部の古川盆地周辺を納めた姉小路氏、南部を拠点に勢力を拡大した三木氏、北部の高原郷を治めた江馬氏、現在の白川郷周辺を治めた内ヶ島氏などの武士がそれぞれの領域を治める群雄割拠の状態でした。これらの武士は、上杉氏、武田氏、織田氏など周辺の強国の影響も受けつつ、独自の勢力を保ち続けました。

天正10年（1582）の「八日町の戦い」では、三木氏と江馬氏が戦い、三木氏が勝利を取ります。その3年後には、豊臣秀吉の命を受けた金森長近が飛驒に攻め入り、三木氏は滅亡しました。その後は金森氏の統治によって、飛驒は近世の時代を迎えることになります。

### 内ヶ島氏



内ヶ島氏理

現在の白川郷周辺を拠点としていた武士で、將軍奉公衆として室町幕府と結びつき、戦国時代も活動します。天正13年（1585）におこった天正地震により、居城・帰雲城とともに歴史の表舞台から姿を消します。

### 江馬氏



江馬輝盛

飛驒北部・高原郷を治めた武士の一族。南北朝時代から戦国時代末期まで活発に活動しました。江馬氏の館は、將軍邸に通じる格式を備えた武家屋敷と庭園を持っていたことが発掘調査で明らかになりました。

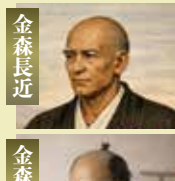
### 姉小路氏



姉小路基綱

京の公家で、飛驒国司に任じられて飛驒北部の古川盆地を治めた一族。公家社会や文化に通じ、在地支配も併せ持つ存在として知られました。特に姉小路基綱・済継父子は宮廷歌人としても名を残しています。

### 金森氏



金森長近

美濃・土岐氏の一族とされ、金森長近は若くして織田信長に仕えました。その後、羽柴（後の豊臣）秀吉に仕え、天正13年（1585）に長近・可重父子は飛驒に侵攻します。金森氏の入国と統治を契機に飛驒国は近世を迎え、以後6代にわたり飛驒高山藩として続きました。

### 三木氏



三木自綱

もともと守護・京極氏に使える武士で、南飛驒を本拠とした一族です。戦国時代に入ると勢力を拡大し、飛驒を代表する武将となります。さらに、姉小路氏の名跡を継いで古川盆地を掌握します。遂には、江馬氏も下しますが、金森氏の侵攻を受け滅亡しました。



飛驒地域内の所要時間（車の場合）		
◎飛驒高山～白川郷	東海北陸自動車道	約50分
◎飛驒高山～飛驒古川	一般道（国道41号）	約30分
◎飛驒高山～下呂温泉	一般道（国道41号）	約60分

※番号①～⑨の城については裏面で詳しく紹介しています

## 【飛驒地域（高山駅）へのアクセス】

### 東京から

▶JR  
 富山経由：約3時間40分  
 北陸新幹線「かがやき」  
 富山駅  
 特急ひだ  
 高山駅  
 名古屋経由：約4時間5分  
 東海道新幹線「のぞみ」  
 名古屋駅  
 特急ひだ  
 高山駅

▶高速バス 約5時間45分  
 バスタ新宿 ▶▶ 高山濃飛バスセンター

▶マイカー 約5時間45分  
 中央自動車道▶▶ 長野自動車道▶▶ 国道158号線経由

### 大阪から

▶JR 約3時間10分  
 大阪駅  
 東海道新幹線「のぞみ」  
 名古屋駅  
 特急ひだ  
 高山駅

▶高速バス 約5時間40分  
 近鉄難波駅西口（OCATビル）▶▶ 高山濃飛バスセンター

▶マイカー 約4時間  
 名神高速道路▶▶ 東海北陸自動車道▶▶ 中部縦貫自動車道経由

### 名古屋から

▶JR 約2時間20分  
 名古屋駅  
 特急ひだ  
 高山駅

▶高速バス 約2時間45分  
 名鉄バスセンター ▶▶ 高山濃飛バスセンター

▶マイカー 約2時間5分  
 名神高速道路▶▶ 東海北陸自動車道▶▶ 中部縦貫自動車道経由



## ① 江馬氏館・高原諏訪城



室町時代から戦国時代にかけて北飛驒を治めた武将・江馬氏の居館と背後の山城。江馬氏館は現在、庭園・会所・主門などを発掘調査の成果をもとに復元しています。高原諏訪城は巨大な堀切や長大な堅堀が特徴の山城で、館から歩いて登ることができます。

住所	岐阜県飛驒市神岡町殿 573 番地 1
アクセス	JR飛驒古川駅より車・バスで約 30 分
駐車場	有 (道の駅スカイドーム神岡)
問い合わせ先	史跡江馬氏館跡公園 TEL:0577-82-6001 (12月～3月冬季閉館)

## ② 小島城



飛驒国司・姉小路氏の一角であった小島氏の居城で、高原郷と小島郷を結ぶ神原峠の道が脇を通る交通の要衝に位置する山城。石垣が残り、構築技術から天正13年(1585)に飛驒に入った金森氏による改修の可能性があります。

住所	岐阜県飛驒市古川町沼町
アクセス	・太江農業センターから徒歩 30 分 (太江農業センターから小島城太江口まで徒歩 5 分) ・JR 杉崎駅から小島城沼町口まで徒歩 15 分
駐車場	有 (太江農業センター [飛驒市古川町太江 2570])
問い合わせ先	飛驒市教育委員会文化振興課 TEL: 0577-73-7496

## ③ 古川城



飛驒国司・姉小路氏の一角であった古川氏の居城です。後に金森氏が飛驒に侵攻した際、新たな拠点(増島城)を築城するまで、この城を使用したと伝わります。曲輪や切岸は大規模で、石垣を伴う枡形虎口も残ります。

住所	岐阜県飛驒市古川町高野
アクセス	JR 飛驒古川駅から濃飛バス古川・神岡線に乗り「上町」下車、登城口まで徒歩約 25 分
駐車場	有 (城跡の南西部の駐車スペース)
問い合わせ先	飛驒市教育委員会文化振興課 TEL: 0577-73-7496

## ④ 帰雲城



戦国時代に白川郷周辺を拠点とした内ヶ島氏の居城です。天正13年(1585)におこった「天正地震」によって、当主一族・城下は悉く埋没しました。城がどこに存在したのか現在でも謎で「幻の帰雲城」と呼ばれます。崩壊した山の斜面や伝承地に建つ碑が、当時の様子を偲ばせます。

住所	岐阜県大野郡白川村保木脇
アクセス	東海北陸自動車道白川郷 IC から国道 158 号線で 20 分
駐車場	有 (石碑周辺)
問い合わせ先	白川村教育委員会 TEL: 05769-5-2180

## ⑤ 広瀬城



標高約 619m の山頂に築かれた山城で、はじめ広瀬氏の居城でしたが、三木氏により滅ぼされ、三木自綱の居城となりました。二ノ丸や三ノ丸、馬場にある畝状堅堀群は残りがよく、特に三ノ丸のものは見事です。また、尾根を断ち割る巨大な堀切も見どころです。

住所	岐阜県高山市国府町名張
アクセス	JR 飛驒国府駅から登城口まで車で 5 分、徒歩 25 分
駐車場	有 (岐阜県文化財保護センター南側駐車場)
問い合わせ先	高山市教育委員会文化財課 TEL: 0577-35-3156

## ⑥ 松倉城



標高 856.7m の松倉山にある山城。飛驒南部を支配した三木氏が、高山盆地へ侵出し本拠として築いた城で、尾根には曲輪や堀切を造り、本丸や二ノ丸、三ノ丸は総石垣化しています。2m を超える巨石が使われた石垣は必見です。

住所	岐阜県高山市松倉町
アクセス	JR 高山駅から飛驒の里駐車場まで車で 10 分 JR 高山駅からさるぼろバスに乗り「飛驒の里」下車 飛驒の里から松倉遊歩道を通り本丸まで徒歩 30 分
駐車場	有 (飛驒民俗村・飛驒の里駐車場 (有料))
問い合わせ先	高山市教育委員会文化財課 TEL: 0577-35-3156

## ⑦ 高山城



金森氏の本拠。天正16年(1588)から16年にかけて金森長近と可重により築かれ、名城とたたえられましたが、金森氏の転封により元禄8年(1695)に取り壊されました。現在は、本丸の礎石と石垣の一部、二之丸の石垣、三之丸の堀などが残されています。

住所	岐阜県高山市城山
アクセス	JR 高山駅から駐車場まで車で 10 分、徒歩 25 分
駐車場	有 (城山公園駐車場)
問い合わせ先	高山市教育委員会文化財課 TEL: 0577-35-3156

## ⑧ 桜洞城



現在の下呂市の地を基盤に勢力を拡大した三木氏の居館。およそ 150m 四方の大きさで、周囲を巨大な堀がめぐっていました。現存する北西の堀は当時の様相を留めています。発掘調査では、中国・朝鮮からの輸入陶磁器や、瀬戸・美濃の陶器が出土しました。

住所	岐阜県下呂市萩原町萩原
アクセス	JR 飛驒萩原駅より徒歩 20 分、星雲会館駐車場から徒歩 8 分
駐車場	有 (星雲会館 [下呂市萩原町萩原 1166-8])
問い合わせ先	下呂ふるさと歴史記念館 TEL:0576-25-4174

## ⑨ 萩原諏訪城



三木氏を討伐した金森氏が飛驒南部統治の拠点として築城したとされる居館。元々あった諏訪神社を隣村へ移し、堀と石垣をもつ居館が築かれたといわれます。一国一城令後は旅館として使用されました。河岸段丘上に築かれたことがわかる断崖が西側に見られます。

住所	岐阜県下呂市萩原町萩原
アクセス	JR 飛驒萩原駅より徒歩 5 分、星雲会館駐車場から徒歩 8 分
駐車場	有 (星雲会館 [下呂市萩原町萩原 1166-8])
問い合わせ先	下呂ふるさと歴史記念館 TEL:0576-25-4174